

# 万 広 報

一部 五 円

発行所 伊万里市役所  
編集人 山口正次  
印刷所 伊万里印刷所  
TEL 710

## 自主財政再建計画確認さる 七月七日附帯事項付

六月一日付伊市議案第二〇七号を以て申請中の自主財政再建計画は七月七日付第九五二号を以て、知事確認が示達された、尙該確認書には税の徴収その他に

### 敬 弔

#### 市 主 催 戦没者合同葬 二十四日回通寺で執行

市内大川内町出身故陸軍 尙合祀された英霊は次の通曹長副島徳次氏外六柱を祀り  
伊万里市主催戦没者合同 故陸軍曹長 副島徳次氏  
葬は過ぐる七月二十四日午 大川内町岩谷(出身)  
後一時より市内回通寺本堂 故陸軍伍長 本山武志氏  
に於て、いと厳肅に執り (伊万里町上土井町出身)  
行われた、炎暑の折にも拘 故陸軍兵長 野口 直氏  
らず旧知を慕う参列者は堂 故陸軍兵長 (松浦町桃川出身)  
に溢れ尙各方面よりの花輪 故陸軍兵長 原 福一氏  
弔辭ひきまきらず盛んな申 (松浦町山形出身)  
らいであった。 故陸軍上等兵 高森正義氏

**(集)** 一、題 目  
自主再建下伊万里市政今後の方途につ  
いて、(成可く具体的に記載すること)  
二、応募規定  
1. 伊万里市内居住者に限る  
2. 四百字詰原稿用紙十枚程度  
三、締 切 九月十五日  
四、審査方法  
当方にて選任せる審査員回開採点の上  
綜合点數の高位順により決定  
五、賞 金  
入選作 一篇 五千円  
佳作 三篇 各千円  
入選作該当なき場合は選外佳作を増加  
する場合もある  
六、発表 十月発行「市広報紙上」  
尙御不審の点は市役所總務課宛お問合  
せ下さい。

(波多津町辻出身)  
故陸軍一等兵 小林半一氏  
(南波多町大曲出身)  
故陸軍一等兵 大崎 明氏  
(松浦町桃川出身)

### (お知らせ)

#### 法外援護資金 寄 附

一金壹万円也  
伊万里町本岡米雄氏  
(光太郎氏死亡による香奠  
返しとして)  
一金五千円也  
東新町(伊万里農園) 森  
巴氏  
(直人氏死亡による香奠返  
しとして)

### 無駄な経費は省きましょう

新生活の第一歩は先ず冗費の節約と時間の勵行等節度のある生活から出発せねばなりません。國民の自覺と貿易の振興により、昨年度は、國際收支も予想以上に伸びました。眞の日本の再発足はこれからであり又絶好のチャンスでもあります。しかし茲で油断をすれば、激しい國際競争に押流される危険があります。中元の贈答禁止秋祭の簡素化等々、凡ゆる虚禮はこの際思い切つて廢止し、堅實で然も希望のある生活を営む様、お互いに心掛けましょう。

### 伊万里港運営委員会開催 總力を舉げて強力推進

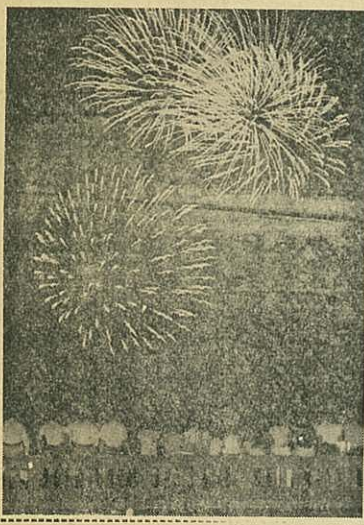
伊万里港運営委員会は七月七日午後一時より市議ありとの結論に達し、全力を以て推進に努め、縣議上をあげて傾注の必要を痛感し、鷲崎土木部長以下各関係 善処することになった。者列席、橋口市長委員長と 尙、縣當局の説明によれば、伊万里港使用条例の改 港開港の計画は次の様に正案につき鳩首協議の後、ついで、  
伊万里港開港に伴う意見、一、二里町側に荷揚場設置希望の交換申請を行い、所二、伊万里港の浚渫註港開港、工業誘致の先三、久原港道路補修

### 飛地問題解決 稀に見る境界變更

去る五月の定例市議案に(十一名)が居住し、これ提案可決された松浦市との まで松浦市民としての生活飛地問題は七月二十五日のを續けて来たが、二十九年臨時縣議會で議決され、郡の町村合併で伊万里市が同境界變更が確定した、地区民に市税を課したので、即ち山代町立岩宇原の百五問題となつたものである。十三坪は縣境から六十米長その後両市で話し合ひの結果、固定資産税は伊万里市他は松浦市へと区分徴收されて、去る五月該居住者から境界變更の申請があつたものである。

### 賑つた夏祭

(上) 花 火 大 会  
(下) 中島神社のみこしかつぎ



### 八月の納税

今月は市民税第二期分の納期に當つて居ります。末日までに必ず納めましよう。

### 参議院議員選挙伊万里市投票結果表

| 町 別 | 当 日 有 権 者 |        |        | 投 票 者  |        |        | 投 票 率 |       |       |
|-----|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
|     | 男         | 女      | 計      | 男      | 女      | 計      | 男     | 女     | 計     |
| 伊 万 | 5.748     | 6.930  | 12.678 | 4.640  | 4.874  | 9.514  | 80.72 | 70.33 | 75.04 |
| 伊 黒 | 1.146     | 1.332  | 2.478  | 979    | 1.092  | 2.071  | 85.43 | 81.98 | 83.58 |
| 波 多 | 1.226     | 1.420  | 2.646  | 1.054  | 1.149  | 2.203  | 85.97 | 80.92 | 83.26 |
| 波 南 | 1.167     | 1.299  | 2.466  | 1.042  | 1.049  | 2.091  | 89.29 | 80.75 | 84.79 |
| 大 松 | 1.972     | 2.123  | 4.065  | 1.714  | 1.665  | 3.379  | 86.92 | 78.43 | 82.52 |
| 二 東 | 1.272     | 1.445  | 2.717  | 1.090  | 1.106  | 2.196  | 85.69 | 76.54 | 80.82 |
| 山 代 | 1.685     | 1.851  | 3.535  | 1.293  | 1.271  | 2.564  | 76.74 | 98.67 | 72.51 |
| 代 田 | 2.429     | 2.459  | 4.885  | 1.813  | 1.635  | 3.448  | 74.64 | 66.57 | 70.58 |
| 山 計 | 3.974     | 4.303  | 8.277  | 2.885  | 3.016  | 5.901  | 72.60 | 70.09 | 71.29 |
| 計   | 20.619    | 23.159 | 43.778 | 16.510 | 16.857 | 33.367 | 80.07 | 72.79 | 76.22 |

### 一万票が「無言の行」 参議院議員選挙投票成績

佐賀地方監察局では従来手續の促進、不適正な処理役所の仕事能率的に、又の変更をして頂くよう仲介適正に行われているかを監視の務めとして、世間や御察し、行政運営の改善に努めるお役所仕事で縣民の蒙力して来ましたが、縣民の不便、不都合を少しでも皆さんからも御意見を拜聴なくして行きたいものと存して、この目的を更に推し進めます。御相談の内容は何進めるため、昨年五月行政でも結構ですが、國の事務苦情相談を開設しましたと関係の無い縣や市町村の即ちお役所にいろいろの申 固有事務と、刑事及び民事

### 行政苦情相談について 佐賀地方監察局

請、願、届出の手續をなすの事件は裁判所で取扱いとされても仲々手ななかつたことになって居ますので受付り、或はお役所の処理が納 ない事になって居ます。御相得出来ずお困りの方は一應 談は直接御出で下されば幸同相談所に事実を訴え御相 でも結構です。御出で下されば幸談下さい、相談所ではよくか御遠慮なく御利用頂く事実をお聞きして相手方の 佐賀地方監察局の所在地は官廳に連絡し、どうしてそ 佐賀市赤松町(測候所の東)ういふ処理がなされたかを 調査して、必要な場合には(隣)にありませう。

### 二里出張所長に池田義彦氏

村岡出張所長病氣療養の 尙、南波多出張所に於てもため、農林水産課勤務池田 山下所長不在中同勤務松義彦氏が後任出張所長に任 尾榮氏が所長代理を命ぜら命された。

### 夏期消防点検日割決定 行事は訓練が主眼

伊万里市 消防本部で、又市長自ら親は別表通り 関者として各分団を巡回、管下十二ヶ 土気を鼓舞することとなつた。分団の本年 て居りその成果が期待され度夏季点検 ている。尙、因に市消防団の現有勢を實施する 力は自動車六台、手引動力ポンプ三十六台、小型動力ポンプ七十五台、定員三二四〇名となつて居る。 特に本年度 四〇名となつて居る。 事は最小限 八月十六日 第十一、十二 律、禮式、 分団(東山代中学校)

### 暑中御見舞申上げます

昭和三十一年 盛夏  
伊万里市役所  
市長 橋口 四郎  
助役 山口 正次  
収入役 大川内 善次  
職員 一同  
伊万里市議會  
議長 武藤 庄三郎  
議員 一同  
伊万里市教育委員會  
委員長 内山 竹四  
教育長 川崎 文次  
職員 一同

◆コソドロは窓と心のすまなかから

一刻も早く連絡が肝心

0070

